



郷土の人物を調べたい！



2023年4月26(水)
～6月25日(日)

ある人物について調べようとした時、一番最初に思い浮かぶ資料はどんなものですか？
その人についてズバリ記してある資料と言えばやはり「伝記」でしょうか。しかし、「伝記」が書かれている人物はほんのひと握り。「郷土の人物」となれば、さらに少なくなります。では、どのように調べればよいのでしょうか？
今回は、郷土の人物を調べる資料と方法をご紹介します。

☑ まずは、その人物から思いつく「キーワード」を拾い出してみましょう。

- ・名前 — 本名／通称名／改名
- ・場所 — 出生地／出身地／出身校／拠点地
- ・人物 — 親族／友人／同業者
- ・事柄 — 職業／趣味／学問 etc.



人名辞典で確認する

辞典で情報を集めます。

1階「参考図書コーナー」にも、様々な種類の人名事典があります。
『日本人物レファレンス事典』(日外アソシエーツ株式会社/編集・発行, [2019])
『郷土ゆかりの人々』(飯澤文夫/監修, 日外アソシエーツ, 2016) など



こんなときは...

☆読みが分からない！

1階「参考図書コーナー」には、名前の読み方を調べることができる辞典もあります。
『姓名よみかた辞典』(日外アソシエーツ株式会社/編集・発行, 2014)
『難読・稀少名字大事典』(森岡浩/編, 東京堂出版, 2007) など

L280

「伝記」やその人を取りあげている資料を探す

その人物について書かれた「伝記」はもちろん、郷土の人物を集めて紹介している資料に記載がないか確認します。

人物について書かれた資料は、「L28」の棚にあります。



☆複数の資料を見る

資料によって、情報が違うこともあるので、できるだけ複数の資料で検証しましょう。

これは、必須！

☆「参考文献」を確認

伝記などの資料を見つけたら、その著者が参照した「参考文献」のリストも確認しましょう。そこに掲載されている資料を読んでみると、その人物に関して新たな情報が得られることも。

市史・県史から調べる

人名辞典にも載っていない、「伝記」もないけれど、市史や県史には載っているという事はよくあります。

ここがコツ！

☆『市史』『県史』は、2回以上目を通す！

一度は読んだ『市史』や『県史』を、拾い出したキーワードや、調べていくうちに分かったことを元に、違う視点から見直すと「記載があった！」ということも。

「キーワード」に関する資料を見る

- ・関係する地区から調べる
各地区で作られた郷土史誌には、地元ならではの情報もあり、くわしく紹介されていることも多いです。
- ・関わった人から調べる
本人だけでなく周辺の人物について書かれた資料を見ます。その人物のあらたな側面を知るきっかけにも。
- ・関わった事柄から調べる
その人物が関係した事に関する資料にあたります。その分野では有名人ということも。

貸出	〇 三重の人名を探す 〇 (L28)	※()内は資料の請求記号です	時代
×	『三百藩藩主人名事典 3』 藩主人名事典編纂委員会/編, 新人物往来社, 1987		江戸
×	『三百藩家臣人名事典 4・5』 家臣人名事典編纂委員会/編, 新人物往来社, 1988		江戸
×	『三重先賢伝 正・続』 浅野松洞/著, 東洋書院, [1981]		江戸～大正
	★江戸～大正頃の、学問・芸術分野などで活躍した人物を収録		
○	『東海の異才・奇人列伝』 小松史生子/編著, 風媒社, 2013		江戸～昭和
×	『聖地三重の偉材と之を嗣ぐ者』 鯉江長明/著, 三重県編纂協会, 1937		明治
×	『三重県紳士録』 三重県紳士録編纂会/編集・発行, 1915		大正
×	『伊勢年鑑』 伊勢新聞社/編集・発行, [2022]	(L059)	現代
×	『三重県人物・人材情報リスト』 日外アソシエーツ/編集・発行, [2022]		～現代
	★現在活躍中の人物から歴史上の人物まで、三重県にゆかりのある著名人を収録		
×	『365日のMVP』 伊勢新聞社/企画・編集, 2019		現代

	〇 四日市の人名を探す 〇 (L28)	※()内は資料の請求記号です	時代
○	『北勢人物大鑑』 山口孝/著, 新伊勢時報社, 1950		江戸～
×	『東海道人物志 (復刻本)』 大須賀陶山/著, 羽衣出版, 2008		江戸
	★東海道筋の文化人を、宿場ごとに記した人名録。		
○	『四日市の礎』『四日市の礎 2』 志水雅明/著, 四日市市文化協会, [2009・2014]		江戸～
○	『文化展望・四日市 第20号』 四日市市文化振興財団/編集・発行, 2003	(L051)	江戸～昭和
○	『泗水百人物の横顔』 丸山半月/著, 三重日日新聞社, 1935		明治～昭和
○	『近代四日市の幕開け』 四日市市立博物館/編集・発行, 1997		明治～昭和
	★四日市の近代産業の発展に尽力した人物などを紹介している		

	〇 各分野の人名を探す 〇	※()内は資料の請求記号です	分野/時代
×	『四日市医報 64号』 四日市医師会/編集・発行, 1983	(L49)	医学/明治～昭和
○	『中部日本四日市港』 四日市商工会議所, 1930	(L68)	産業/昭和
	★「四日市市商工人名録」が収録されており、業種、所在地、屋号、事業主名などの記載がある		
×	『大四日市市と其の周辺 商工案内』 谷口秋市/編集, 青年新聞社出版部, 1948	(L67)	産業/昭和
×	『四日市商工名鑑』 [四日市商工会議所/編集・発行], 1950～	(L67)	産業/昭和～
○	『三重県の画人伝』 我妻栄吉/著, 三重県郷土資料刊行会, 1983	(L72)	芸術/江戸～明治
○	『列伝・三重県陶芸先覚志』 山田一生/著, 三重県郷土資料刊行会, 2002	(L75)	工芸/江戸～平成
×	『三重県刀工・金工銘鑑』 田畑徳鸞/著, 三重県郷土資料刊行会, 1989	(L75)	工芸/江戸

市立図書館の地域資料室では、県内の各市町村史を揃えています！

江戸時代には、幕府領、桑名藩領、津藩領、菰野藩領など様々な所領が分散していた四日市市。各藩などに関わりのある人物ならば、藩の本拠地が置かれていた場所の市・町史や、そこに収録されている「分限帳」(※)などを調べると、何か情報が得られるかもしれません。

※分限帳とは・・・藩士の名前や役職などを記したもの



四日市市立図書館 〒510-0821 四日市市久保田一丁目2番42号

Tel.059-352-5108 Fax059-352-9897

開館時間/(平日)9:30～19:00(土日祝)9:30～17:00 休館日/月、第2,4火、年末年始、特別整理期間